



株主の皆様へ

第63期 中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR／コンプライアンスを経営の中核においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第63期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国の景気減速懸念等により依然として先行きに不透明感はあるものの、政府や日銀による経済・金融政策により円安、株高基調が継続し、企業業績や雇用情勢に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当業界におきましては、新設住宅着工戸数は前年比で増加傾向に転じ、回復の兆しはあるものの、消費増税による反動減の長期化の影響等を受け、依然として厳しい市場環境となりました。

このような状況の中で、当社グループは、木材関連事業におきましては、国内市場では主力製品の拡販によるシェアの拡大、新製品の積極的な開発、リフォーム市場や非住宅市場への参入を積極的に推進しつつ、引き続き、収納材を中心にお客様のニーズに合った製品の生産・販売活動に注力いたしました。海外市場ではフランス子会社の販売活動が本格化したことも、売上高増加に寄与しました。しかしながら、国内市場では円安による輸入原材料価格の上昇を受けたこと、また海外市場ではフランス子会社において想定よりもセールスマックスが悪化したことで利益率が低下したこと等により各段階損益は前年同四半期を下回る結果となりました。電線関連事業におきましては、新規のリニューアル市場及びスマート商材市場の販路開拓に注力した販売活動を実施してまいりましたが、地方における電材業界に寄与する物件の新設が減少傾向にあることに加え、県外からの競合参入による価格競争の激化、大手サブコンからの受注減少等により、前年同四半期に比べ業績は悪化しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,734百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業損失は140百万円（前年同四半期は営業利益149百万円）、経常損失は102百万円（前年同四半期は経常利益275百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は130百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益129百万円）となりました。

当社グループといたしましては、経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応し、グループの目標達成に向けて全社員一丸となって取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

+++ INNOVATION NEWS

ユーザーとのより良いリレーションを目指し、
ホームページを刷新いたします。

New Design New Contents Renewal

※写真はすべてイメージです。



より楽しく。分かりやすく。
2015年・冬 全面リニューアル予定。

スマートフォン・タブレットでも閲覧や体験が可能に。
お客様とのよりスムーズなコミュニケーションのために、
新しい機能と新しい価値を提供してまいります。

- 動画・ギャラリー導入によるユーザーへの提案強化
- 提案書メーカー導入によるオンビジネスサポート
- ダウンロードデータ充実化をによる支援
- バーチャルショールーム／各種キャンペーン導入 等

NEW

2015年7月リリース

リーズナブル&イージーオーダー。 納期短縮も実現した「グッドア」ニューリリース。



GÖÖD ORDER MADE SLIDE DOOR

オーダーメイドスライドドア [グッドア]

シンプルな構成の製品ラインナップ

シンプルなフレーム



シルバー

選べる3色のパネルカラー



ハーフクリア



アクア



ホワイト

市場ニーズに応えた、新システムを導入。

「もっと安価に」「もっと簡単に」「もっと早く」に応えるべく、従来のオーダーメイドドア「オドア2」とは異なるオーダーシステムを構築しニーズに対応いたしました。

■フレーム&レールカラー1色／パネルカラー3色／中枠なしのシンプルな製品構成に絞り込み、リーズナブル&納期短縮を実現。

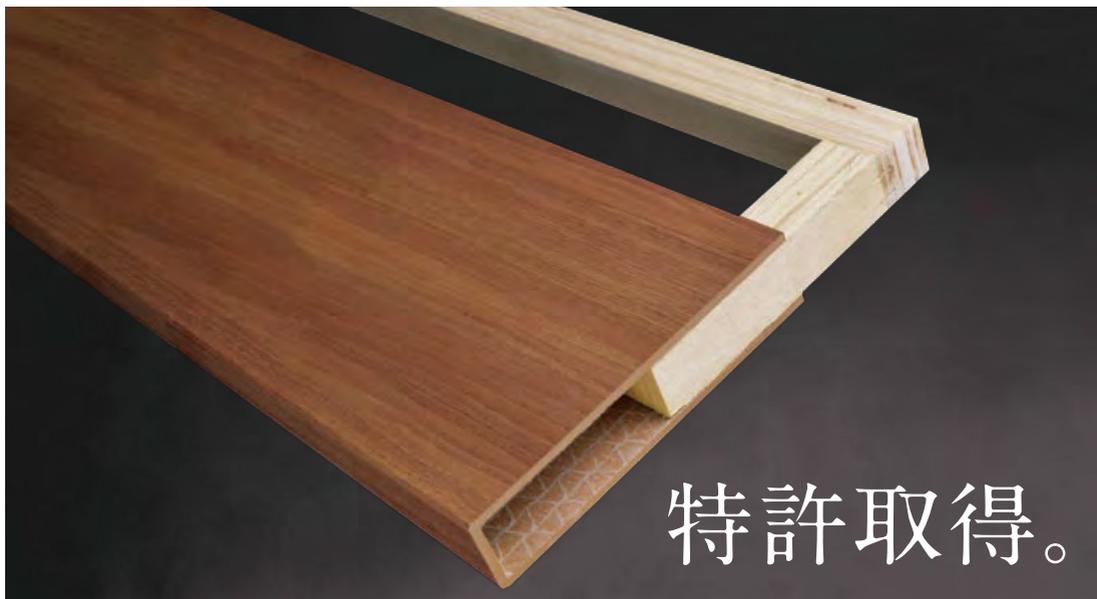
■1ミリ単位のサイズオーダーながら、扉は規定寸法内均一価格という設定でイージーオーダーを実現。

グループ会社・南海加工に製造を委託。

主にプラント関連の樹脂製パーツ製造を行っていた南海化工株式会社へ、新たにグッドア製造ラインを増設。グループでの連携を図り新領域にチャレンジしています。

NEWS

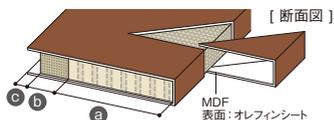
新発想インテリアロングボード「リビラス」。
話題の新構造製品が、特許得を取得いたしました。



特許取得。

Interior Long Board livus.

インテリアロングボード「リビラス」



- a 間口カット層：特殊強化芯材
- b 奥行カット層：特殊強化芯材
- c 受収納まり部

南海プライウッドの新技术が特許を取得。

発売時より、特許出願中であった「リビラス」。

その斬新な構造と、画期的な施工方法の独自性が認められ、
2015年5月、特許庁より特許の認可を取得いたしました。



拡がるプランの可能性。
ボックス設置が可能に。

リビラスでも活用できるよう設計を見直したアートランバーリフの新仕様ボックス。本来の飾るオープン収納から、「隠す収納」の機能を付加でき、様々な収納スタイルを実現できるようになりました。



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年9月30日)
■資産の部		
流動資産	11,400	11,547
現金及び預金	1,394	1,917
受取手形及び売掛金	3,486	3,439
電子記録債権	1,625	1,415
商品及び製品	981	857
仕掛品	1,228	1,080
原材料及び貯蔵品	2,175	2,361
繰延税金資産	109	89
その他	404	390
貸倒引当金	△4	△4
固定資産	9,626	9,433
有形固定資産	6,808	6,885
建物及び構築物	1,234	1,283
機械装置及び運搬具	1,315	1,206
工具器具備品	48	41
土地	4,024	4,027
建設仮勘定	159	293
その他	27	32
無形固定資産	350	278
投資その他の資産	2,466	2,270
投資有価証券	780	687
長期貸付金	110	121
繰延税金資産	19	16
投資不動産	1,082	1,067
退職給付に係る資産	4	—
その他	476	385
貸倒引当金	△7	△7
資産合計	21,026	20,981

	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年9月30日)
■負債の部		
流動負債	3,021	3,157
支払手形及び買掛金	1,125	1,026
短期借入金	870	1,099
未払金	360	362
未払費用	129	114
未払法人税等	84	31
未払消費税等	166	67
賞与引当金	162	148
デリバティブ債務	36	197
その他	83	109
固定負債	590	559
長期借入金	334	270
繰延税金負債	77	75
役員退職慰労引当金	9	9
退職給付に係る負債	153	187
その他	16	16
負債合計	3,612	3,717
■純資産の部		
株主資本	17,014	16,805
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	13,160	12,952
自己株式	△133	△134
その他の包括利益累計額	400	458
その他有価証券評価差額金	89	89
為替換算調整勘定	331	384
退職給付に係る調整累計額	△20	△15
純資産合計	17,414	17,264
負債純資産合計	21,026	20,981

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日
売上高	7,193	7,734
売上原価	5,009	5,739
売上総利益	2,183	1,994
販売費及び一般管理費	2,034	2,135
営業利益	149	△140
営業外収益	169	253
営業外費用	43	215
経常利益	275	△102
特別利益	3	23
特別損失	18	13
税金等調整前四半期純利益	260	△91
法人税等	131	38
四半期純利益	129	△130

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

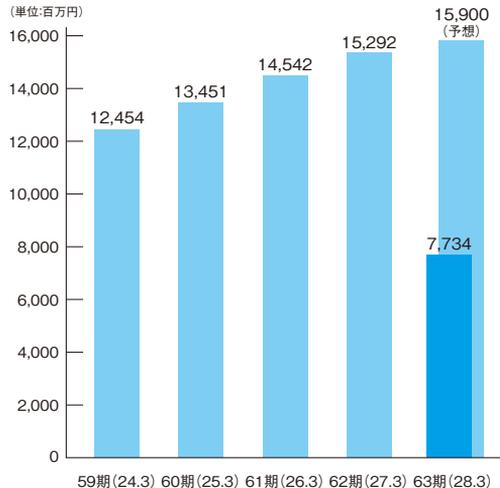
	前第2四半期 連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△501	631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△651	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,003	96
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	22
現金及び現金同等物の増減(△)額	△166	522
現金及び現金同等物の期首残高	1,407	1,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,240	1,917

■ 損益ポイント

- 海外連結子会社の生産販売活動が本格化したことにより売上高が7.5ポイント増加。
- 国内市場における輸入原材料の高騰、海外市場におけるフランス子会社のセールスマックス悪化により、営業損失140百万円(前年は営業利益149百万円)を計上しました。

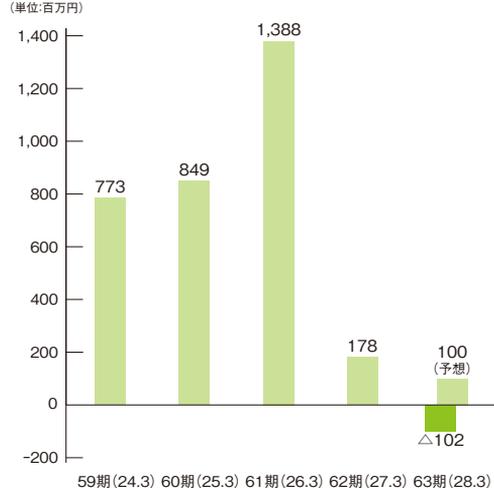
▽売上高の推移

(単位:百万円)



▽経常利益の推移

(単位:百万円)



当第2四半期累計期間の概況

木材関連事業におきましては、国内市場では主力製品の拡販によるシェアの拡大、新製品の積極的な開発、リフォーム市場や非住宅市場への参入を積極的に推進しつつ、引き続き、収納材を中心にお客様のニーズに合った製品の生産・販売活動に注力いたしました。

電線関連事業におきましては、新規のリニューアル市場及びスマート商材市場の販路開拓に注力した販売活動を実施してまいりましたが、地方における電材業界に寄与する物件の新設が減少傾向にあることに加え、県外からの競合参入による価格競争の激化、大手サブコンからの受注減少等により、前年同四半期に比べ業績は悪化しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,734百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業損失は140百万円（前年同四半期は営業利益149百万円）、経常損失は102百万円（前年同四半期は経常利益275百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は130百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益129百万円）となりました。

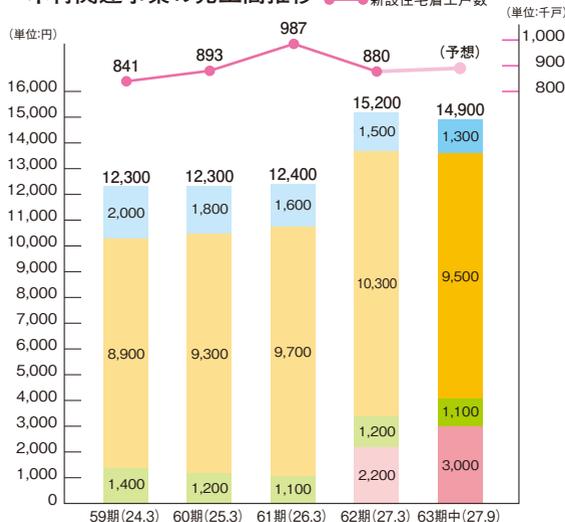
通期の見通し

当連結累計期間におけるわが国経済は、中国の景気減速懸念等により依然として先行き不透明感はあるものの、政府や日銀による経済・金融政策により円安、株高基調が継続し、企業業績や雇用情勢に改善の動きが見られることから、景気は緩やかな回復基調で推移していくものと思われま。

今後、国内市場では、売上が堅調に推移する見込みであり、さらに原価の見直しや、採算性を鑑みて一部商品の値上げも検討しております。また、海外市場では、フランス子会社の商品の販売品目構成を見直すことなどにより、第2四半期累計期間までの業績の動向を加味して、通期予想を修正しております。

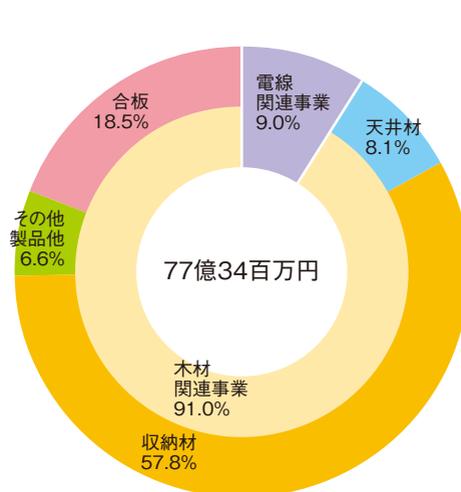
通期の業績予想は、売上高15,900百万円（前期比3.9%増）、営業利益50百万円（前期は営業損失2百万円）、経常利益100百万円（前期比43.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は70百万円（前期比24.7%減）になるものと予想しております。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

▼セグメント別の連結売上高構成



株式の状況

(平成27年9月30日現在)

総数

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式の総数 10,095,800株

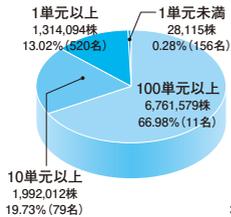
株主数 766名(前年度末比48名減)

大株主

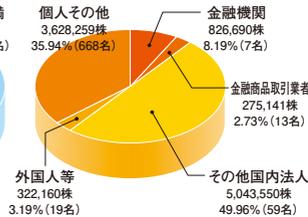
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,753千株	28.44%
公益財団法人南海育英会	1,554	16.06
丸山修	492	5.08
株式会社百十四銀行	467	4.83
小林茂	302	3.12
株式会社愛媛銀行	243	2.51
株式会社SBI証券	191	1.47
南海プライウッド従業員持株会	129	1.38
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.32
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JP RD AC ISG	124	1.28

(注)当社は自己株式418,617株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

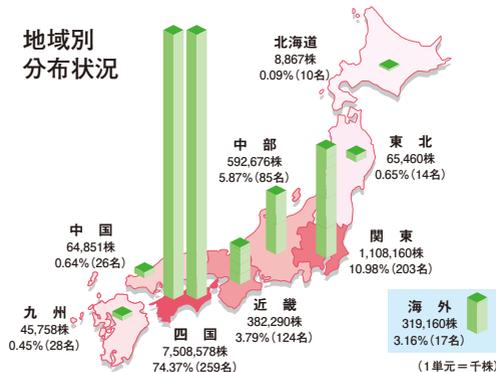
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成27年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 390名(連結1,293名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町保税倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	執行役員	小野 彰三
取締役・上席執行役員	藤村 岳志	執行役員	蓮井 孝治
取締役・上席執行役員	正箱 孝史	執行役員	松浦 義博
取締役・上席執行役員	丸山 宏	執行役員	藤本 英二
取締役(社外)	村田 剛	執行役員	大川 正仁
常勤監査役	秋山 二郎	執行役員	浮田 貴仁
監査役	大川 俊徳		
監査役	岩部 達雄		

連結子会社

(平成27年9月30日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT.NANKAI INDONESIA
 南海建材商貿(上海)有限公司
 NP ROLPIN SAS

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成27年9月30日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 / 定時株主総会の議決権 3月31日
 - 期末配当 3月31日
 - 中間配当 9月30日※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 / 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 / 東京証券取引所 市場第二部(証券コード 7887)
- 単元株式数 / 1,000株
- 株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
【郵便物送付先 / 各種お問合せ先】
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)
〔受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕



南海プライウッド株式会社